

## ビール瓶の633mLとは？

世間に出回っている容器の中には、一定の高さまで入れると量の決まる容器があります。これを計量法では**特殊容器**といい、104種類もあります。そして下の図に示すように端数のないきっちりした量のものが大半ですが、ビール瓶は633mLと半端な数値です。なぜでしょう？

(答え)

ビールが造られ始めた明治の初めは四合(720mL)が主流でしたが、時代とともに量が少なくなり、昭和19年酒税徴収の絡みから当時最も小さかった三合五勺(630mL)に統一されたところからきたもので、3mLは底上げしていた瓶底を平にしたための増加分。



提供

